

4.20 社会保障審議会

1.はじめに

- ☐ 天高く伸びる高層ビルは愛知・名古屋の元気の象徴
- ☐ 全国一の有効求人倍率 1.94（3年3ヶ月記録更新中！）
- ☐ 主要企業のトップの訓示「挑戦」「飛躍」の言葉が踊る
- ☐ 人手不足が経済成長のボトルネック

2.深刻な人手不足の現状

- ☐ 「介護職員募集しても応募がない」（パートも応募がない）
- ☐ チラシ有効期限 3 日⇒賞味期限 1 日の午前中
- ☐ 派遣会社も人材不足
- ☐ ハローワークへは「年中募集中」
（中途退職者が約 9 割、半数以上が職業安定所を利用）
- ☐ 移乗・入浴介護でも「年齢不問」
（29 歳未満は約 3 割、50 歳以上は 4 分の 1～愛知県人材確保調査）
- ☐ NHK スペシャルのショック

3.養成校の課題

- ☐ 「お前は優しいから福祉に向いている」
- ☐ 「介護福祉士資格」持って大手自動車会社の期間工に

4..消え失せる介護業務の魅力

- ☐ 報酬減額で給与の魅力を失う⇒報酬単価をもうこれ以上下げない。
- ☐ プレッシャー（苦情・介護事故等）ばかりが強く仕事の魅力を失う
- ☐ 重度化に伴ないコミュニケーション（対人関係）の魅力を失う
- ☐ マニュアル化・記録・書類の煩雑さがヒューマニティの魅力を失う

5.施設の取組み

- ☐ 夜勤シフトの見直し
- ☐ 人事考課による能力給導入
- ☐ 短時間労働に対応するためのシフトバリエーション
- ☐ 福利厚生
- ☐ 資格取得・資格所得の保証
- ☐ 配置転換

6.最後に

- ☐介護施設は生活と命を支えるところ
- ☐施設の人材不足は社会のセーフティネットの崩壊
- ☐専門性の向上は否定しないがその前に人手確保が先
- ☐介護人材がいないことがいま最大の問題